

## つながりに感謝

廣州日本人学校には、今日も子どもたちの元気な声が響いています。今月は小学部の活動を紹介します。

最初は、小学部1年生の様子です。

9月9日(木)。2年生に見守られ、1年生が音楽発表会を実施しました。当日は、程よい緊張感の中、練習の成果を発揮して、それぞれが精いっぱい発表をしました。なお、保護者の方には、感染症対策のため、後日、発表の様子を動画で配信して鑑賞していただきました。保護者からは、子どもたちを励ますたくさんのメッセージをいただきました。1年生の頑張る姿が、観てくださったすべての人に感動を与えてくれました。

次は、小学部3年生の様子です。

9月13日(月)。スーパーマーケット見学のため、イオンに行きました。お店で働く方たちがどのような工夫をしているのかを教えていただいたり、挨拶体験や買い物体験をしたりしました。実際に見学したことで、販売に携わる方々の思いや願いを知ることができ、学習内容を一層深めることができました。関係者の皆様、お忙しい中、私たちのために時間をくださり、本当にありがとうございました。

最後に、昼休みの様子です。

廣州日本人学校では、月に一度、「キッズタイム」を実施しています。「キッズタイム」とは、小学部1年生から6年生までの縦割班活動です。6年生が中心となり、1年生のお迎え、遊びの内容の計画、当日の運営と反省を行っています。どの学年の児童も、わくわくしながら過ごしています。他学年と交流を図ることで、小学部全体の絆が深まっています。

日本では、多くの学校で活動の制限がある中、こうして毎日子どもたちが当たり前のように学校に来て授業をしたり、体験活動をしたりすることすることができ、本当にうれしく思います。

廣州日本人学校は、「つながり」に重点を置いて教育活動を行っています。児童生徒が「先生」「授業」「友だち」「保護者・日本人社会」「中国」とつながることで、学びの質が高まると考えています。特に、学校や児童生徒を支えてくださる「保護者・日本人社会」や「中国」との「つながり」でたくさんのことを学ぶことができることに感謝の気持ちでいっぱいです。今後も児童生徒たちのためにご支援をよろしくお願い致します。

